

1 スクール・ミッション

校訓「至誠一貫」のもと、知・徳・体の調和のとれた教育を行い、生徒の個性や能力をさらに磨き、自らの進路や在り方生き方について自己実現を図り、自立し、志を立て、使命感をもって、多様な社会で主体的に活躍できる生徒を育成する。

2 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

多様な社会で主体的に活躍できる人材を育成するため、本校の教育活動全体を通して、「確かな社会人基礎力」「確かな学力」「確かな人間力」の育成を目指す。

(2) カリキュラム・ポリシー

本校の教育目標及びグラデュエーション・ポリシーに基づき、総合ルーブリックとして「学習力」「協働力」「発信力」の指導目標及び到達目標を定め、個に応じた資質・能力の進展を図る。

(3) アドミッション・ポリシー

自己の将来を見つめ、学習活動に力を注ぐとともに、学校行事や部活動にも熱心に取り組み、自らの可能性を追求することができ、入学を心から希望する生徒を望む。

3 目指す学校

(1) 教育目標

「至誠一貫」の校訓のもと、東京都教育委員会の目標に基づき、知・徳・体の調和のとれた教育を行い、生徒の個性や能力を磨き、生徒が自らの進路や在り方生き方について自己実現を図れるよう支援し、もって、自立し、志を立て、使命感をもった、社会に有為な人材を育成する。

(2) 目指す学校

ア 進学指導の重視

学力向上に向けた学習内容や学習方法を工夫し、きめ細かな学習指導及び進路指導を行い、希望大学等への進学を実現する学校。

イ 規律ある自由の実現

人権尊重の理念を正しく理解し、良識ある社会性と規範意識を身に付け、自律的な態度を伸長し、豊かな人間性を育成する学校。

ウ 部活動・学校行事等の充実・発展

部活動や学校行事等の特別活動を通じ、主体的に集団や社会に参画し、学校への帰属意識を深め、自己実現を図る学校。

エ 知の探究の重視

知識及び技能を習得し、思考力、判断力、表現力等を育成し、学びに向かう力や人間性等を涵養し、生きる力を育む学校。

4 中期的目標と方策

(1) 【学習指導】教科内及び教科間の連携を深め、授業内容や方法の工夫・改善、授業時数や授業規律の確保、生徒の家庭学習時間の増加などにより、入学年次からの学習習慣と確実な学力の定着を図り、進学に向けた学力の向上を目指す。

(2) 【進路指導】キャリア教育の全体計画に基づき、生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、将来設計に基づいた進路指導を進める。また、進学に向けた指導を充実させ、3年間を見通した系統的かつ組織的な進学指導を行い、高い水準の進学実績の達成を目指す。

(3) 【生活指導】生徒指導提要（令和4年12月）を踏まえ、「規律ある自由」の精神を正しく理解させ、規範意識の涵養とモラル・マナーアップを図り、自らの権利と義務、自由と責任につ

いての認識を深め、自分で判断し決定し実行する自己指導能力の育成を図る。また、いじめ総合対策【第3次】を踏まえたいじめに関する校内研修を実施し、現状生徒の理解を深め、生徒が健康で安全な学校生活を送るよう指導の充実を図り、不登校・中途退学の未然防止や早期支援に努める。

- (4) 【特別活動・部活動】ホームルーム活動や生徒会（生徒自治会）活動及び学校行事を充実させ、集団や社会の一員としての自覚と行動力、社会の発展に貢献しようとする自主的・実践的な態度を育成する。また、部活動のより一層の活性化を図り、学校生活の充実と生徒の可能性の伸長を図る。
- (5) 【健康・安全】「TOKYO ACTIVE PLAN for students」に基づき生徒の健康の保持・増進及び体力の向上を図り、社会の発展に貢献し得る心身共に健康な人間の育成を目指す。教育相談機能を充実させ、安全で快適な学校生活を送るよう環境の整備を図る。また、災害に対する体験的・実践的な指導を進め防災教育の充実を図る。
- (6) 【募集・広報活動】教育活動内容を積極的に地域に発信し、学校開放や地域等との連携を進め、地域に貢献できる魅力ある学校づくりを行う。また、学校説明会、見学会、授業公開等を積極的に行い、受検応募者増を図るとともに、生徒による授業評価や学校運営連絡協議会による評価などを活用して学校運営の改善を図っていく。
- (7) 【学校経営・組織体制】管理運営規程に基づく組織的な学校運営を行い、企画調整会議を中心とした組織的学校経営を推進し、校務分掌内及び分掌間の協働体制を一層充実させ、校務の円滑な運営と諸課題の解決を図っていく。

5 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

教育目標と目指す学校の具現化に向け、全教職員の主体的な取組と協働体制を一層推進し、組織的な校務運営を行う。これまでの教育活動の成果と課題を検証し、更なる充実を図るとともに、改善・改革を進めていく。

【学習指導】

- ① 伝統ある進学校として、教科の到達目標を明確にし、指導と評価の改善により進学に向けた学力の向上を図る。
- ② 教科主任会及び教科会を定期的で開催し、授業の工夫と充実を図るとともに、可能な限り教材、授業内容、定期考査の共通化を図り、授業改善と教科全体の授業力向上に取り組む。
- ③ 土曜授業を行い、授業時数を確保し、全ての授業でチャイム始業を徹底するとともに、生徒の家庭学習を促し、学習習慣の定着と確実な学力の向上を目指す。
- ④ 学習指導要領で求められる、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、ICT機器や生徒一人1台端末の活用や探究的学習による授業改善に取り組む。また、言語活動を通してコミュニケーションやプレゼンテーション能力の向上を図る。
- ⑤ 習熟度別授業（数学、英語）、進学対策の選択科目、国公立大学進学対応クラスの設置など、生徒の理解度や目的に応じた指導を行い、学力向上に向けた学習指導の充実を図る。
- ⑥ 自主学習室の活用、進学対策講習、夏期・冬期講習、朝や放課後の講習などへの参加者を拡大させ、進路実現に向けた計画的な学習指導を行う。
- ⑦ 図書館を積極的に活用し、読書量の向上を図る。
- ⑧ 「東京グローバル人材育成指針」に基づき、多文化共生の精神の涵養を図る。

【進路指導】

- ① キャリア教育の全体計画に基づき、将来設計に基づいた進路指導を行い、自己の個性や学習の成果を生かす進路を自らの意志と責任で選択決定していく能力や態度を育成する。
- ② 的確な進路情報の提供、生徒の学力分析、面談の実施、講演会や説明会等の進路行事の充実、進路部と学年担任との連携などを通して、学校全体が一体となった組織的な進路指導を進める。

- ③ 基礎学力テストや模試を有効に活用し、事前事後指導を行い、年間3回模試分析等による進路研修会を開催し、教科内及び教科間での指導の連携を深め、確実な学力の向上と目標大学合格に向けた学力定着を目指す。
- ④ 伝統ある進学校として、国公立大学や難関私立大学への進学実績を向上させる。
- ⑤ 教科指導及び進学指導の実践力を高めるとともに、大学入学共通テスト問題や難関私大入試問題等の分析を行うなど、進学指導の充実を図る。
- ⑥ 朝や放課後等の授業時間外や長期休業日中の講習などの進学に向けた指導を組織的・計画的に行い、生徒の学習意欲と進学に向けた学力を向上させる。

【生活指導】

- ① 「規律ある自由」の精神を正しく理解させ、学校生活のあらゆる場や機会において、規範意識を高め、自分で判断し決定し実行する自己指導能力を高める指導を行う。
- ② 校門指導、ホームルーム指導、授業時などを通じて、遅刻防止指導や頭髪・服装等の身だしなみ指導を行うとともに、集団生活におけるルール、マナー・モラルを身に付けさせ、自律的な生活態度とお互いを尊重する態度を育成する。
- ③ 文京生であることに自覚と責任をもたせ、問題行動や事故の未然防止や予防的指導を充実させ、生徒が安全・安心に充実した学校生活を送るための指導を推進する。
- ④ 体罰根絶、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組むなど、人権尊重の教育を推進する。
- ⑤ セーフティ教室等において自殺対策基本法の改正を踏まえた、SOSの出し方に関する教育を実施するとともに、SNSの正しい利用、薬物乱用防止、問題行動防止、犯罪被害防止などの指導を充実させる。
- ⑥ ヘルメット着用等の自転車の安全指導、通学マナーの徹底、貴重品の管理など、家庭・地域・関係機関との連携を図り指導する。

【特別活動・部活動】

- ① 望ましい集団活動を通して、個性の伸長を図るとともに、人格と人権を尊重して互いに協力し合う態度を身に付けさせ、よりよい生活や健全な人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育成する。
- ② ホームルーム活動、生徒会（生徒自治会）活動、学校行事、部活動を通して、生徒が自己の役割を自覚し、主体的に活動できるよう指導する。
- ③ 東京都教育委員会の指定や事業を積極的に受けるように努め、他人との係わりの中で個々の力を伸ばさせ目標を達成させることで、成就感や自己肯定感を高める指導を行う。
- ④ スポーツ庁が示した「運動（文化）部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び、東京都教育委員会が策定した「学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン」に基づき、効率的・効果的な部活動を実践する。
- ⑤ 本校が目指す「文武両道」の精神のもと、高い部活動加入率を維持し、大会・競技会・コンクールでの上位入賞を目指し、質の高い活動を行う。
- ⑥ 事故防止への指導を徹底するとともに、感染症への感染状況等に応じた対策を講じるなど、安全・安心な活動を確保する。

【健康・安全】

- ① 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染状況に応じて機動的に措置を講じ、安全・安心に学校生活を送ることができる環境等を整える。
- ② 新入生全員面接、全員対象アンケート、教育相談連絡会の開催などの取組を通して、養護教諭2名、スクールカウンセラー2名と連携した教育相談機能を充実させ、生徒一人一人に応じたきめ細かい指導を組織的に行い、学校不適応の未然防止や自殺予防を図る。
- ③ 学校医と連携し学校保健委員会等を活用し、生徒の健康に関する情報を共有できる体制を整える。「TOKYO ACTIVE PLAN for students」を踏まえ、体力テストの結果を活用し、健康づくり、体力づくりの体制を整え、体力向上に向けた組織的な取組を行う。
- ④ 学校安全計画を策定し、防災教育、薬物乱用防止教室など、生徒の安全に関する指導を

徹底する。また、教員の危機管理能力を高め、事故を想定し先回りした計画の策定や生徒への指導を行い、未然防止を図るとともに、事故発生時の迅速かつ組織的な対応を行う。

- ⑤ 防災教育推進委員会を設置し、防災訓練以外に避難訓練を年間4回実施するとともに、災害に対する自助の力と共助の精神を育むため、体験的・実践的な防災教育を推進する。
- ⑥ ゴミの分別、美化清掃活動を徹底し、環境美化とリサイクル及び省エネ活動を推進する。

【募集・広報活動】

- ① 「入りたい学校、入って自分を伸ばせる学校、入って自分の将来の夢をかなえられる学校」として本校を選ぶことができるよう積極的に情報発信をし、入学者選抜の応募倍率の更なる向上と不本意入学の防止を図る。
- ② 学校説明会、学校見学会、授業公開、部活動体験入部などの工夫と充実を図り、外部での学校説明会にも積極的に参加し、募集・広報活動を充実させる。
- ③ 全教職員が協力して、中学校訪問、中学校への出前授業や学校説明、体験授業、部活動交流などに積極的に参加し、地域中学校等との連携を図る。
- ④ ホームページの更新を迅速かつ定期的に行い、外部に積極的に情報発信を行う。
- ⑤ 公開講座や学校施設開放を行い、開かれた学校づくりを進める。
- ⑥ ボランティア活動や地域行事への参加などを通して、地域との交流を深めるとともに、生徒の帰属意識を高め、自主・自立の精神を育成する。

【学校経営・組織体制】

- ① 法規・法令、規程・規約、通達・通知などに基づいて学校経営を進め、組織の機能を高め、学校としての組織力を教育力に結び付けていく。
- ② 各分掌、学年、教科が主体的に学校改革に取り組み、予防的指導や逆算的計画のもと指導や運営に当たるとともに、一層の連携強化を図り、PDCAサイクルを確立し、各組織の持続的な発展を目指す。
- ③ 新たな課題に対して、プロジェクト委員会を設置するなど、諸課題への対策や解決を機動的に進める。
- ④ TAIMS 端末や教育用 ICT 機器等の情報機器を有効に活用し、校務の効率化を一層推進するとともに、「学校における働き方改革の推進プラン」に基づきライフ・ワーク・バランスの実現を目指し、学校における働き方改革を推進する。
- ⑤ 経営企画室の学校経営参画を促進する。
- ⑥ 経営企画室との連絡・調整・連携を強化し、施設・設備の管理や予算執行など、スムーズで無駄のない学校経営を行う。

(2) 重点目標と方策

① 【学習指導】

授業時数を確保し、学習指導要領や大学入学共通テストに対応した授業内容や授業方法を工夫し、生徒の理解度や目的に応じた適切な内容・負荷・スピードによる指導を行うとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「東京都NIE実践指定校」としての利点を活かし、探究的学習による授業改善に取り組み、生徒の学びの質を高める指導を進める。

朝や放課後等の授業時間以外での講習や夏期・冬期講習などの受験指導も充実させるとともに、自主学習室の活用や家庭学習時間の増加、読書量の増加などにより主体的な学習を促し、進学に向けた学力の向上を図る学習指導を一層充実させる。

教科主任会及び教科会を定期的に開催し、授業、家庭学習、補習・講習などの内容や方法を調整し、学校全体で組織的に学力向上に向けた学習指導を推進する。

各教科において、生徒一人1台端末整備に係る指導計画を策定し、端末の活用を推進する。

感染症等への対応も踏まえ、オンラインの積極的活用・定着に取り組み、学習内容の確実な定着と学力向上を目指す効果的な学習指導を計画的に進める。

② 【進路指導】

「進学指導等の充実事業推進校」の指定を受け、キャリア教育の視点に基づいた進路指導

体制を構築するとともに、上級学校を目指す生徒一人一人の進路希望や資質・能力に応じた指導を行う。伝統ある進学校として進学指導をより一層充実させ、国公立大学や難関私立大学への現役合格者数の増加など、進学実績の向上を目指す。

国公立大現役合格者 30 名、難関私立大現役合格者（早慶上理 ICU）50 名、私立大学現役合格者（GMARCH）220 名の合格者数及び大学入学共通テスト得点率 60%以上の人数 250 人を目標とし、文京での学びが高い目標の実現につながるという文京高校のスタンダードを定着させる。

年間 3 回開催する進路研修会等を活用し、模試分析等による生徒の学力診断結果を教科内及び教科間で検証し、進路目標実現に向けた指導の改善・充実に結び付けていく。

授業時間外や長期休業日中の講習、自主学習室の活用など、進学に向けた指導を組織的・計画的に行い、生徒の学習意欲と進学に向けた学力を向上させる。

年内入試等の大学入試制度改革に迅速に対応し、受験指導の一層の充実を図る。

③【生活指導】

学校生活のあらゆる場や機会において自己指導能力の育成を図り、生徒の規範意識や人間性を高め、文京生であることへの自覚と誇りをもたせ、自律的な態度や行動を育成する。

人権尊重の教育を推進し、お互いを尊重する態度を育成する。

基本的な生活習慣の定着、遅刻指導、身だしなみ指導、安全指導、いじめ防止、問題行動防止、犯罪被害防止、自殺予防などの指導を徹底し、安全・安心な生活を送るよう指導の充実を図り、生命にかかわる事故 0 を継続する。

近年、高校生や社会において発生している事故や事件等の情報を的確にとらえ、生徒の行動や心理に対する想定範囲を広げ、事故や問題行動等の未然防止の視点で、予防的指導を進める。

令和 6 年 1 月に示された、令和 6 年度から全ての都立学校において自転車通学におけるヘルメット着用を求めるという東京都教育委員会の方針を受け、自転車通学時のヘルメット着用について指導を進める。

家庭・地域・関係機関との連携を図り指導を進める。

④【特別活動・部活動】

「都立学校における部活動の特別強化プロジェクト」Premiere club の支援事業を有効に活用し、「至誠一貫」の校訓のもと、学習面だけでなく、特別活動や部活動もひたすらに実践する生徒を育成する。

学校行事、生徒自治会活動、委員会活動などへ主体的に参画させ、成就感や自己肯定感を高められるよう指導を進める。

「文武両道」の精神のもと、「部活動に係る活動方針」に基づき、運動部・文化部共に、事故やけがの防止に努め、効率的・効果的な部活動を実践し、学校生活の充実と、学校への帰属意識を一層高める。

関東大会レベル以上の出場部活動数延べ 3 部以上を目標とし、高い目標の設定と実現に向けた質の高い部活動を進める。

服務事故防止研修等を通して、体罰撲滅に向けた指導体制を徹底する。

⑤【健康・安全】

インフルエンザ等の感染状況に応じて機動的に措置を講じ、生徒の健康を守り、安全・安心を最優先とする教育活動を行う。

養護教諭（2 名）、スクールカウンセラー（2 名）を活用した学校全体の教育相談体制の機能を高め、教育相談委員会を年間 6 回開催し、長期休業明けのアンケートを実施するなど、学校不適応の未然防止や自殺予防に向けた組織的取組を進める。

防災、健康、安全、個人情報の保護など、学校の危機管理や安全管理について全教職員で取り組み、安全・安心で健康な学校づくりを行う。

⑥【募集・広報活動】

できる限り多くの方に本校の特色や教育の成果を知ってもらうことを基本とし、効果的な

広報活動や募集対策を工夫・充実させ、入学者選抜の応募倍率の更なる向上と不本意入学の防止を図る。

学校説明会、学校見学会、授業公開、部活動体験入部などの工夫と充実を図り、外部での学校説明会にも積極的に参加し、募集・広報活動を充実させる。授業見学、体験授業、出前授業などを実現させ、質の高い教科指導の実態や、ひたすらに実践する文京生の姿に触れることができる機会を設ける。

全教職員が協力して、中学校訪問、中学校への出前授業や進路説明会、学校説明会、部活動交流などに参加するなど、積極的な情報発信や地域中学校等との連携を進める。

ホームページの更新を迅速かつ定期的に行い、本校の教育活動の内容や成果を積極的に外部に発信する。

⑦【学校経営・組織体制】

東京都教育委員会からの指定や支援を受け、教育活動の充実・発展に取り組むとともに、引き続き「ルールに基づく学校運営」をスローガンとし、法令・規則等に基づく組織的な学校運営を更に進め、諸課題の解決を図っていくと共に、服務事故0に努める。

「東京都特別支援教育推進計画（第二期）第三次実施計画」に基づき、配慮が必要な生徒に対して、適時適切に個々のニーズに合った合理的配慮・教育的配慮を実施する。

学校運営のすべてにおいて、持続的に改善・発展できるように、現在の業務遂行についてPDC Aサイクルで効果検証を行い、全教職員が主体的に教育活動の充実・発展に向けた取組等を進めていく。

予防的指導と逆算的計画を教育活動や学校運営の方針とし、組織的な学校経営を一層充実させる。

経営企画室との連絡・調整・連携を強化し、施設・設備の管理や予算執行など、円滑かつ効率的な学校経営を行う。

教職員のライフ・ワーク・バランスの実現を目指し、学校におけるウェルビーイングの向上を図る。

(3) 数値目標 () 内は昨年度実績

① 長期休業中の講習講座延べ日数	330 日以上 (326 日)
② 自主学习室平均利用人数 (1 日当たり)	70 人以上 (65 人)
③ 大学入学共通テスト得点率 60%以上の人数	250 人以上 (220 人)
④ 国公立大学現役合格者数	30 人以上 (26 人)
⑤ 難関私立大学 (早慶上理、ICU) 現役合格者数	50 人以上 (48 人)
⑥ 難関私立大学 (GMARCH) 現役合格者数	220 人以上 (213 人)
⑦ 現役大学進学率	90%以上 (85.1%)
⑧ クラス平均遅刻人数 (1 日当たり)	0.3 人以下 (0.3 人)
⑨ 1 年生部活動加入率	95%以上 (94%)
⑩ 関東大会レベル以上出場部活動	3 部以上 (3 部)
⑪ 図書館の年間貸し出し冊数	2500 冊以上 (2007 冊)
⑫ ホームページ年間更新回数	260 回以上 (252 回)
⑬ 学校説明会の来場者延べ人数	8200 人以上 (8158 人)
⑭ 入学者選抜応募倍率 (学力検査)	1.45 倍以上 (1.34 倍)